

雨上がりの土曜日(9月1日)、こんなにも朝早く玉すだれの公演の為に集合するのは、久しぶりの様な気がしました。

お招きいただいたのは、本庄17号若宮2丁目交差点を左折したところにある、本庄西公民館。

小島地区の65才～75才までの方が集う「さわやかサロン」、毎月行われ、勉強会だったり、お楽しみ会だったり、昼食会だったり、この日は防災の日でもあったので、長めの挨拶がありました。そして私たちが行くので、カレーライスの昼食日でもありました。



この公民館は中規模の大きさと、昔から製薬会社の方々が多く住み、前には県営住宅の高層団地があり、今も高いビルの建設中でした。また近くには大きな公園もあるらしく、駅(JR, 新幹線)にも近いため、若い世代、シニア(65才～)、老人会 75才以上、と区分されて活動をしているみたいです。

今日はこの中のシニア世代、皆さん若く、私たちより若い人が多いんです。元気です。



私たちが行った時には、もう何か1階の大会議室で学習をしていました。2階の広い和室で急いで着替えて 10 時からの始まりです。

着替えて降りていくと衣装をみただけで、拍手！！

座長が「衣装七分、演技三分」と話すと何をやるのだろう？と玉すだれを正しく理解して居ないようでした。大うけ！！！！

挨拶をし、まずは「南京玉すだれの基本」…… 皆さんから「なるほど」うまい！！と大拍手。自己紹介は、「遠くから来た人もいるんだ？」「何のつながり？」と興味深々でした。



演技は「人生に涙あり」に始まり、最後の決めポーズ「この印籠が目に入らぬか！」も決まり、終わって「葵のご紋の印籠」を見て頂き、手にして感心顔

二曲目「きよしのズンドコ節」は知らない人はいない好評さ、「キヨシッ」「キヨシッ」のコールも元気にいただきました。



「麦畑」はビックリ！ビックリ！の連続、やはり、あの最後は想像を超えているね？

「…嫁っさ、来ておくれ…」

ハートもいい形に！





マジックはいつもながら感心の連続で、種がばれていません“全て”かな??

オカリナは今回、間違ってもわからないように、1人ずつ好きな曲を吹きました、Yさんは「涙そうそう」Mさんは「小さな旅」を、そして最後に皆さんで「四季の歌」を歌いました。



前回より、四季の歌を模造紙に、大きく書きました。皆さん前を見ながら楽しそうに歌うので、成功だな！！と我ながら思っています。

その後、「触れ合いタイム」で皆さんで玉すだれに触れてもらい、阿弥陀さまなどを作って頂きました。



お客さまにも作って頂きました。



終演の挨拶で、大きな拍手を頂き終わりとなりました。

ここからが第二部……

自治会長、公民館長、30才台の市議員さんやら皆さんでの記念撮影会。

衣装から着替えて、今度は昼食会、おいしいカレー御替わり自由、キャベツきゅうりの浅漬け、皆さんと和やかに頂きました。

お礼の挨拶を何度も頂き、公民館を後にしました。

帰りに加須から着ているTさんに、「岡部道の駅」で有名な“深谷もやし”を購入してもらうため立ち寄り、その後お茶にしました。

後記

今回のこの企画は、孫の学童の先生のお話でした。

余りお話したこともないし、場所は本庄だし、呼んでいただくなんて、不安な所も正直ありました。

その先生はS会社を定年になり、3～4年この公民館の館長をして、今年から孫の学童の先生で来られた方のようでした。

思っていた「玉すだれ」より、3倍は面白い！！凄い！！の連続でこちらも恐縮するほど、心から楽しんでおられました。—安心！！です。

記： 難波 道子

写真撮影：中山 陽子